



## 問 町の人口減少について

### 答 自然減、社会減が続いている

平成30年4月の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による最新の将来推計人口で、茨城県では300万人あった人口が2045年には223万5,686人に減少。五霞町は、2015年の人口8,786人が2045年には、5,074人（42.2%の減少）に減少すると推計されたことについて、どう捉えているか。

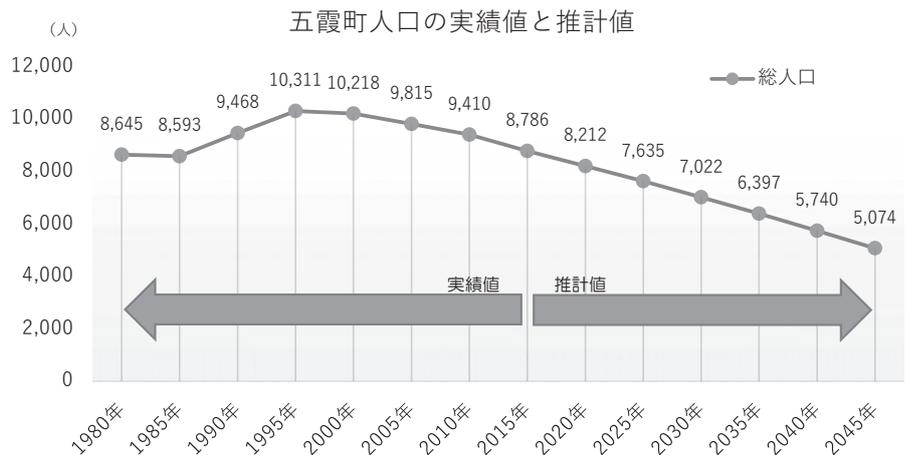
問 現状と将来人口（社人研の将来推計）について。

政策財務課長 実態をきちんと見極め、現実的な目線で今後の将来を見通すことが重要と考えています。また、人口減少抑制のための取組を、引き続き実施していきます。

問 策定中の第6次五霞町総合計画での将来人口の想定と目標は。

政策財務課長 平成31年度中

に改訂する新たな五霞町人口ビジョンをベースに明らかにしていきます。



※2015年までは「国勢調査」の実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」の推計

## 問 圏央道インターチェンジ周辺地区土地区画整理事業について

### 答 今年度末、工事はほぼ完了、平成32年2月までに換地処分が終了する

進捗状況及び今後のスケジュールは。

問 Bブロックへの企業誘致は、いつ頃、決定されるか。

副町長 通販事業の拡大により商業施設を取り巻く環境は、以前よりも厳しい状況であります。Bブロックを分割し用途変更も検討してはどうかとの意見もいただいています。引き続き、業務代行者とともに商業系事業者の誘致ができるよう努めていきます。

問 今後、町で計画している新たな開発区域はあるのか。

町長 圏央道インターチェンジ周辺地域、既存の工業団地周辺地域、幹線道路に面した地域、

農業投資密度の低い地域などで、より早期に事業化につなげられるよう候補地の検討を行っている状況です。

